



2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月13日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東
 コード番号 3995 URL https://skiyaki.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小久保 知洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03-5428-8378
 四半期報告書提出予定日 2021年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	2,403	△0.7	△14	—	△42	—	17	△54.6
2021年1月期第2四半期	2,421	3.8	92	5.1	80	△11.1	38	△27.4

（注）包括利益 2022年1月期第2四半期 18百万円（△9.3%） 2021年1月期第2四半期 20百万円（△58.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	1.62	1.61
2021年1月期第2四半期	3.58	3.56

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	3,681	1,058	28.5
2021年1月期	3,995	985	24.5

（参考）自己資本 2022年1月期第2四半期 1,051百万円 2021年1月期 977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,874	△1.0	45	△64.5	12	△83.4	55	—	5.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期2Q	10,750,500株	2021年1月期	10,725,500株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	8,038株	2021年1月期	8,038株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期2Q	10,726,602株	2021年1月期2Q	10,699,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により依然として厳しい状況が続いており、未だ収束の見通しも立っていないことから、今後の動向は極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、アーティストに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、アーティストグッズ等のECサービス及びオープン型プラットフォームである「Bitfan」の取扱いアーティスト数及び提供サービス数を増やし、取引規模を堅調に拡大させて参りました。これらの事業展開により、2021年7月末日現在における当社グループが提供するプラットフォームの総登録会員数は、407.6万人（前年同四半期比19.1%増）となりました。また、総登録会員数のうち有料会員数は、89.7万人（同9.0%増）となっております。

プラットフォーム事業については、FCサービスの有料会員数が堅調に増加したことで、ECサービスの売上高が前年同四半期比で24.2%減少した影響をカバーし、売上高が2.9%増加しました。

O2O事業については、当第2四半期連結累計期間における株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION株式の一部譲渡に伴い、同社が連結の範囲から除外され持分法適用関連会社となった影響により、同事業セグメントの売上高及びセグメント損益はほぼゼロとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,403,672千円（前年同四半期比0.7%減）、営業損失△14,667千円（前年同四半期は営業利益92,681千円）、経常損失△42,656千円（前年同四半期は経常利益80,100千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,376千円（同54.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①プラットフォーム事業

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費を売上高に計上するストック型ビジネスであり、安定的かつ継続的な収益が見込まれるという特性を有しております。当第2四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は1,823,585千円（前年同四半期比12.0%増）となりました。なお、FCサービスは、売上高を総額計上しております。当該売上高の増加に伴い、プロダクション向けロイヤリティ（売上原価）及び決済代行業者向け回収手数料（販売費及び一般管理費）等の変動費が増加しました。

ECサービスは、アーティストによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が大きく変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第2四半期連結累計期間においては、前年同四半期においてアーティストグッズ等のオンラインでの販売が非常に好調であったことの反動減により、ECサービスの売上高は439,870千円（同24.2%減）となりました。なお、ECサービスは、当社が受領する販売手数料を売上高として純額計上しております。

その他の売上高は、SKIYAKI TICKET、オープンモデルのBitfan等のサービス提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供等により、51,943千円（同23.1%増）となりました。

その他、人員増及び昇給に伴う人件費の増加等に加え、アーティストの権利取得に係るライセンス先行投資の実施等により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高2,315,399千円（同2.9%増）、セグメント利益11,129千円（同93.7%減）となりました。

②O2O事業

O2O事業は、その事業の一部としてライブ・コンサート制作を行っているため、アーティストによるコンサートやツアーの実施時期により売上高が大きく変動する特性があり、ECサービスと同様に、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。

当第2四半期連結累計期間は、ライブ・コンサートの自粛によるライブ制作収入の減少に加え、O2O事業を展開する株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの株式の一部譲渡に伴い、第2四半期連結会計期間においてO2O事業を主要な事業から除外した影響により、売上高は73,386千円（同52.7%減）となりました。

セグメント損益は、ライブ制作原価及び人件費を中心とした販売費及び一般管理費を控除した結果、セグメント損失△12,686千円（前年同四半期はセグメント損失△73,256千円）となりました。

③その他事業

その他事業の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社である株式会社ロックガレージにおける旅行・ツアー事業、株式会社SEA Globalにおけるスポーツマーケティング事業、SKIYAKI 65 Pte. Ltd. (シンガポール) 及びSKIYAKI 82 Inc. (韓国) の2社が行う海外におけるプラットフォーム事業等でありませ

ず。その他事業については、COVID-19の影響によるファンクラブ旅行の自粛等による旅行パッケージ販売収入の減少、自社メディアの広告収入及びスポーツコンサルティング収入等の減少に加え、人件費を中心とした先行投資費用の発生等により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高14,886千円(同3.5%減)、セグメント損失△16,734千円(前年同四半期はセグメント損失△23,501千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,681,446千円となり、前連結会計年度末に比べ314,137千円減少しました。

流動資産については、現金及び預金の減少601,898千円、売掛金の減少12,889千円、前払費用(主にプロダクション等へ支払う前払ロイヤリティ及び前払サーバー費用等)の増加95,998千円等により、前連結会計年度末に比べ611,376千円減少し、3,123,872千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が11,900千円、無形固定資産が193,299千円、投資その他の資産が352,373千円となり、前連結会計年度末に比べ297,239千円増加し、557,573千円となりました。これは主に、アーティストの権利取得による無形固定資産の増加179,166千円、長期前払費用の増加77,512千円、繰延税金資産の増加60,326千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,622,465千円と前連結会計年度末に比べ387,206千円減少しました。

流動負債については、買掛金の増加53,598千円、未払法人税等の減少72,197千円、預り金の減少106,209千円、役員退職慰労引当金の支払による減少70,000千円等により、前連結会計年度末に比べ182,747千円減少し、2,370,567千円となりました。

固定負債については、子会社株式の一部売却に伴う連結子会社の減少による長期借入金の減少169,001千円、金融機関からの借入れによる長期借入金の増加48,560千円及び返済による減少76,005千円等により、前連結会計年度末に比べ204,459千円減少し、251,898千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ73,069千円増加し、1,058,980千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加17,376千円、子会社株式の一部売却に伴う連結子会社の減少による利益剰余金の増加40,330千円、在外連結子会社に係る為替換算調整勘定の増加1,941千円、譲渡制限付株式の発行による資本金及び資本準備金の増加11,250千円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ601,898千円減少し、1,823,323千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、244,221千円(前第2四半期連結累計期間は462,895千円の獲得)となりました。これは主に、減価償却費30,745千円、減損損失35,876千円、仕入債務の増加額89,519千円、前受収益の増加63,166千円等の増加要因があった一方で、税金等調整前四半期純損失41,465千円、役員退職慰労引当金の減少70,000千円、前払費用の増加93,693千円、長期前払費用の増加83,343千円、預り金の減少95,338千円、法人税等の支払額66,220千円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、332,283千円(前第2四半期連結累計期間は88,471千円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出205,524千円、関係会社貸付けによる支出50,000千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出75,076千円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、26,005千円(前第2四半期連結累計期間は1,160,008千円の獲得)となりました。これは主に、借入れによる収入50,000千円の増加要因があった一方で、借入金の返済による支出76,005千円の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、FCサービスを中核とするストック型サービスの売上高が好調に推移している一方で、ECサービス及び電子チケットサービス等の非ストック型サービスに係る売上高及びその他連結子会社における売上高の減少等が見込まれることなどから、2021年3月17日の「2021年1月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想を修正しました。

詳細については、本日(2021年9月13日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425,222	1,823,323
売掛金	597,458	561,770
商品	472	204
前払費用	467,017	563,015
その他	245,275	175,752
貸倒引当金	△196	△193
流動資産合計	3,735,249	3,123,872
固定資産		
有形固定資産	40,094	11,900
無形固定資産	11,734	193,299
投資その他の資産	269,487	372,808
貸倒引当金	△60,982	△20,435
固定資産合計	260,334	557,573
資産合計	3,995,583	3,681,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	509,638	563,236
1年内返済予定の長期借入金	149,532	150,972
未払法人税等	79,841	7,644
預り金	986,517	880,308
前受収益	522,607	585,773
役員退職慰労引当金	70,000	—
その他	235,176	182,631
流動負債合計	2,553,314	2,370,567
固定負債		
長期借入金	448,345	251,898
その他	8,012	—
固定負債合計	456,358	251,898
負債合計	3,009,672	2,622,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	582,714	588,339
資本剰余金	554,190	562,309
利益剰余金	△158,633	△100,926
自己株式	△346	△346
株主資本合計	977,924	1,049,376
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△316	1,625
その他の包括利益累計額合計	△316	1,625
非支配株主持分	8,302	7,978
純資産合計	985,911	1,058,980
負債純資産合計	3,995,583	3,681,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	2,421,816	2,403,672
売上原価	1,608,850	1,673,955
売上総利益	812,966	729,717
販売費及び一般管理費	720,285	744,384
営業利益又は営業損失(△)	92,681	△14,667
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	71
受取家賃	9,841	8,289
受取補償金	6,000	—
その他	732	497
営業外収益合計	16,592	8,858
営業外費用		
支払利息	3,563	1,735
持分法による投資損失	24,042	16,251
貸倒引当金繰入額	—	17,663
その他	1,567	1,197
営業外費用合計	29,173	36,847
経常利益又は経常損失(△)	80,100	△42,656
特別利益		
関係会社株式売却益	—	45,867
特別利益合計	—	45,867
特別損失		
減損損失	—	35,876
事務所移転費用	—	8,800
特別損失合計	—	44,676
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	80,100	△41,465
法人税、住民税及び事業税	57,106	1,807
法人税等調整額	△1,277	△60,326
法人税等合計	55,828	△58,518
四半期純利益	24,271	17,052
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,020	△323
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,291	17,376

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	24,271	17,052
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,329	1,941
その他の包括利益合計	△3,329	1,941
四半期包括利益	20,941	18,994
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,170	19,318
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,229	△323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	80,100	△41,465
減価償却費	13,166	30,745
のれん償却額	3,344	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,217	16,796
受取利息及び受取配当金	△18	△71
受取家賃	△9,841	△8,289
受取補償金	△6,000	—
支払利息	3,563	1,735
持分法による投資損益(△は益)	24,042	16,251
株式報酬費用	7,905	1,864
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△45,867
減損損失	—	35,876
事務所移転費用	—	8,800
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△70,000
売上債権の増減額(△は増加)	△142,733	△12,889
たな卸資産の増減額(△は増加)	△506	1,080
前払費用の増減額(△は増加)	△40,101	△93,693
長期前払費用の増減額(△は増加)	11,124	△83,343
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,457	89,519
預り金の増減額(△は減少)	417,005	△95,338
前受金の増減額(△は減少)	24,174	△28,056
前受収益の増減額(△は減少)	38,141	63,166
その他	79,487	28,552
小計	486,614	△184,626
利息及び配当金の受取額	18	71
利息の支払額	△3,563	△1,735
家賃の受取額	9,841	8,289
補償金の受取額	6,000	—
法人税等の支払額	△36,015	△66,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	462,895	△244,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,216	△2,422
無形固定資産の取得による支出	△2,216	△205,524
投資有価証券の取得による支出	△50,038	—
投資有価証券の売却による収入	—	750
出資金の払込による支出	—	△10
関係会社貸付けによる支出	—	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△75,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,471	△332,283
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	1,223,333	50,000
借入金の返済による支出	△63,324	△76,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,160,008	△26,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	△485	611
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,533,946	△601,898
現金及び現金同等物の期首残高	1,600,092	2,425,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,134,039	1,823,323

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	020事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,251,235	155,150	2,406,385	15,431	2,421,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	120	27	147	2,575	2,722
計	2,251,355	155,177	2,406,532	18,006	2,424,538
セグメント利益又は損失(△)	176,530	△73,256	103,273	△23,501	79,771

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びスポーツマーケティング事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,273
その他事業の利益又は損失(△)	△23,501
セグメント間取引消去	12,909
四半期連結損益計算書の営業利益	92,681

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年2月1日 至 2021年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	020事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,315,399	73,386	2,388,786	14,886	2,403,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	750	810	4,002	4,812
計	2,315,459	74,136	2,389,596	18,888	2,408,485
セグメント利益又は損失(△)	11,129	△12,686	△1,556	△16,734	△18,290

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びスポーツマーケティング事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,556
その他事業の利益又は損失(△)	△16,734
セグメント間取引消去	3,622
四半期連結損益計算書の営業損失	△14,667